

令和3年度 科学研究費助成事業 実施研究課題一覧

No	種目	氏名	職	新規 継続	研究課題名
1	新学術領域研究	征矢 英昭	教授	継続	意欲と身心パフォーマンスを共に育む次世代運動プログラム
2	新学術領域研究	田 暁潔	PD	継続	牧畜民社会における感情の身体表現とその変化：東アフリカ・マサイの事例から
3	基盤研究(A)	征矢 英昭	教授	継続	認知機能低下を防止する次世代運動戦略の橋渡し研究：海馬の可塑性を高める神経機構
4	基盤研究(A)	征矢 英昭	教授	継続	運動が海馬機能を増強するメカニズムの統合的解明：動物からヒトへの橋渡し研究
5	基盤研究(B)	宮崎 明世	准教授	継続	オリンピック・パラリンピック教育をレガシーとして根付かせるための教育モデルの開発
6	基盤研究(B)	大熊 燦雨	助教	継続	文禄・慶長の役が及ぼした近世東アジアにおける武文化交流史に関する国際研究
7	基盤研究(B)	菊 幸一	教授	継続	公共性の歴史社会学的観点からみた民間スポーツ組織の統括性に関する日欧比較研究
8	基盤研究(B)	松井 崇	助教	継続	持久性運動時の生体防御を担う中枢疲労形成の神経機構：脳グリコーゲン由来乳酸の役割
9	基盤研究(B)	高橋 英幸	教授	継続	運動後の筋グリコーゲン回復に影響を及ぼす要因の解明：効果的な栄養戦略立案に向けて
10	基盤研究(B)	大藏 倫博	教授	継続	文禄・慶長の役が及ぼした近世東アジアにおける武文化交流史に関する国際研究
11	基盤研究(B)	高木 英樹	教授	継続	水泳水中運動における新たな流体力学的解析法の開発とメカニズムの解明
12	基盤研究(B)	藤井 直人	助教	継続	ヒト熱放散反応における TRP チャネルの役割解明 - 熱中症予防法確立を目指して -
13	基盤研究(B)	浅井 武	教授	継続	スポーツボールの飛翔軌跡、非定常流体力、及び渦構造の解明と展開研究
14	基盤研究(B)	藤井 範久	教授	継続	ハムストリングス肉離れの発生に関与する筋構造と走動作の特徴
15	基盤研究(B)	小池 開也	准教授	継続	両手操作型用具を介する跳・投・打動作の動力学的貢献分析によるコツの抽出と検証
16	基盤研究(B)	坂入 洋右	教授	継続	ハイ・パフォーマンスのための"包括的心理状態"の個別最適化
17	基盤研究(C)	仙石 泰雄	准教授	継続	競泳競技における高強度インターバルトレーニングの負荷特性の究明
18	基盤研究(C)	山中 喜代次	名誉教授	継続	ホルモン療法中の乳がん患者のQoL改善を企図した生活習慣介入プログラムの効果検証
19	基盤研究(C)	田中 雅雄	准教授	継続	ビックデータを用いたサッカーのシミュレーション能力評価指標の開発
20	基盤研究(C)	本谷 聡	講師	継続	中学校における生徒の主体的活動を促す運動プログラム開発
21	基盤研究(C)	清水 紀宏	教授	継続	子どもの貧困と体力・スポーツ格差に関する実証的研究
22	基盤研究(C)	鍋倉 賢治	教授	継続	馬拉ソントレーニングにおける「高強度+持続走(ガチウル走)トレーニング」の効果
23	基盤研究(C)	小野 誠司	准教授	継続	眼球運動と脳波計測を用いたアスリートの視覚認知能力の評価法の開発
24	基盤研究(C)	河合 季信	准教授	継続	3D 測距センサーを用いた下肢のケガ発生リスク予測に関する研究
25	基盤研究(C)	木越 清信	助教	継続	小学生における短距離走動作発達・指導モデルの構築
26	基盤研究(C)	深澤 滄洋	教授	継続	シティズンシップ教育を担う体育の原理の探究
27	基盤研究(C)	RAKVAL RANDEEP	教授	継続	PACAP による神経保護および神経軸索再生メカニズムの解明
28	基盤研究(C)	木内 敦詞	教授	継続	大学生アスリートのキャリア成熟に影響を及ぼす要因の抽出
29	基盤研究(C)	渡部 厚一	准教授	継続	高齢者の認知機能や呼吸機能に水中運動は陸上運動より有用か？
30	基盤研究(C)	池田 英治	助教	継続	競技スポーツにおけるコーチングと集団レベルの心理的変数に関する実証研究
31	基盤研究(C)	前村 公彦	准教授	継続	形態的・体力的特性に応じたオーダーメイド型疾走能力向上プログラムの開発
32	基盤研究(C)	岡部 雅大	助教	継続	素早く正確な運動にみられる両眼眼球運動と頭部運動の時空間的協調性の解明
33	基盤研究(C)	會田 宏	教授	継続	球技における「ホルスティック・コーチング」に関する実践知の解明
34	基盤研究(C)	角川 隆明	助教	継続	身体各部位に働く流体力評価による泳動作の推進機序の解明
35	基盤研究(C)	洪 性贊	助教	継続	風洞実験と数値計算を基にした自転車選手の低抵抗姿勢の探索
36	基盤研究(C)	本間 三和子	教授	継続	アクアティクススポーツ競技における肢間協調能力の特徴について
37	基盤研究(C)	内山 治樹	教授	継続	チームスポーツにおける競技力の形成と向上を支える仕組みの究明
38	基盤研究(C)	長谷川 聖修	教授	継続	姿勢固定化を防ぐ環境づくりの試み-動的な座位姿勢のすゝめ-
39	基盤研究(C)	坂本 昭裕	教授	継続	自然体験療法における発達障害児の社会性機能の獲得が自己形成に及ぼす影響の検討
40	基盤研究(C)	渡邊 仁	助教	継続	「ウイラダネス」環境下における野外教育プログラムが体験者の自我再構築に及ぼす影響
41	基盤研究(C)	斎藤 卓	助教	継続	鉄棒運動における「つまづき」をなくすための運動アナログの開発と体系化
42	基盤研究(C)	森野 淳	教授	継続	Buytendijk の「機能」概念導入によるスポーツ技術分析研究法の構築
43	基盤研究(C)	田中 喜代次	名誉教授	新規	中年肥満者への減量介入が20年後のフレイル予防にもたらす効果
44	基盤研究(C)	榎本 靖士	准教授	新規	慣性センサーとAIを用いたランニングフォームの評価：診断方法の開発
45	基盤研究(C)	仲澤 眞	准教授	新規	プロスポーツ経営におけるファン・コミュニティ育成支援の効果と課題
46	基盤研究(C)	伊藤 正洋	助教	新規	運動で高まるストレス耐性の神経機構解明：交差耐性仮説の検証
47	基盤研究(C)	林田 敏裕	特任助教	新規	運動部活動改革の実現要因に関する実証的研究 - 運動部活動の地域移行に着目して -
48	基盤研究(C)	大友 あかね	特任助教	新規	発達障害児の社会性を育む短期通年型自然体験プログラムの構築：関係性視点から
49	基盤研究(C)	大石 純子	准教授	新規	武道思想の近代化に「女性」が及ぼしてきた影響の解明に関する歴史研究
50	基盤研究(C)	柴田 愛	准教授	新規	激増するリモートワーカーの座りすぎによる健康被害を回避するための戦略開発
51	挑戦的研究(萌芽)	藤井 直人	助教	継続	熱中症予防を目指した熱放散反応のガラニ関連メカニズム解明
52	挑戦的研究(萌芽)	酒井 利信	教授	継続	東欧における武道の教育力による国際開発
53	挑戦的研究(萌芽)	征矢 英昭	教授	継続	認知疲労を予防する慢性ストレスマーカーの開発：毛髪コルチゾールからの検討
54	挑戦的研究(萌芽)	佐藤 貴弘	教授	新規	性に関する指導のピループに焦点を当てた教師教育オンラインプログラムの開発
55	挑戦的研究(萌芽)	浅井 武	教授	新規	新型コロナウイルス環境下の身体運動における感染リスク評価システムの開発とその展開
56	挑戦的研究(萌芽)	西嶋 尚彦	教授	新規	深層学習による動作技能の達成度評価方法の解明
57	挑戦的研究(開拓)	坂入 洋右	教授	新規	心身のコンディションの個別最適化を可能にするセルフメイド型ケアシステムの開発
58	若手研究	松井 崇	助教	継続	進化運動生理学の創出：ロコモーションの収斂進化に基づくトレーニング・運動処方革新
59	若手研究	大林 太郎	助教	継続	関東大震災(1923年)からの復興に向けたスポーツ界の対応に関する研究
60	若手研究	門間 貴史	特任助教	継続	高齢者のストレス対処力SOCを高めるスポーツライフの質・量に関する実証研究
61	若手研究	平嶋 裕輔	特任助教	継続	サッカーにおけるゴールキーパーの守備能力評価指標の開発と主観的評価との比較
62	若手研究	雨宮 怜	助教	継続	アスリートの心理的健康とパフォーマンス、チームワークへのマインドフルネスの役割
63	若手研究	清野 隼	助教	継続	北極冒険家が見出す冒険教育の可能性 - 100mile adventure を事例に -
64	若手研究	鈴木 啓太	R&D 研究員	継続	学校管理下で発生する脳振盪の受傷予防を目的とした安全啓発プログラムの開発
65	若手研究	神藤 隆志	特任助教	継続	労働者の身体活動とコミュニケーションを高めるオフィス環境：自然の実験による検討
66	若手研究	下山 寛之	助教	継続	アスリートの消化吸収能力と総エネルギー消費量の関係性
67	若手研究	田 暁潔	PD	継続	変容する牧畜民マサイの「野生動物観」とその生成：子どもと若者の日常経験に着目して
68	若手研究	辻 大士	助教	継続	高齢者の「みる」「ささえる」スポーツの普及促進を目指す大規模縦断研究
69	若手研究	松尾 博一	助教	新規	地方創生に資する参加型スポーツイベントの社会効果発生機序

No	種目	氏名	職	新規 継続	研究課題名
69	若手研究	吉田 拓矢	特任助教	新規	感覚情報を組み合わせたハイブリッド型プライオメトリックトレーニング手段の開発
70	若手研究	Hwang Dongjoo	助教	新規	Brain mechanism underlying strong neuroplastic benefit by a combined strategy with light exercise and astaxanthin supplementation
71	若手研究	佐渡 夏紀	助教	新規	力学的な動かしやすさに対する人間の適応をアスリートの身体から探る
72	若手研究	片岡(中村)由布子	研究員	新規	熱中症予防の為にヒト熱放散反応における TRPA1 チャンネルと NOS の役割解明
73	若手研究	山崎 雄大	学振特別研究員	新規	慢性ストレスおよび抑うつ状態は運動時ヒト海馬活動のパラツキを生むか？
74	若手研究	田名辺 陽子	研究員	新規	クルクミン摂取と筋力トレーニングの併用が高齢者の骨格筋量および筋機能に及ぼす影響
75	若手研究	Kim SatbyulEstella	助教	新規	A Nationwide Health Risk Assessment of PM2.5 Exposure by Examining the Regional Concentrations-Response Relations in a Population-Based Epidemiological Study in Japan
76	研究活動スタート支援	永田 真一	助教	新規	Developing an Activity-Based Intervention to Improve Ikigai for Individuals with Serious Mental Illnesses
77	研究活動スタート支援	土橋 康平	研究員	新規	自発的過換気が高強度運動と回復時の生理応答に及ぼす影響 - 新運動法開発に向けて -
78	研究活動スタート支援	宮本 健史	博士特別研究員	新規	不確実性を含む視標の軌道に対する予測的眼球運動の制御特性の解明
79	特別研究員奨励費	白井 隆長	DC2 → PD	継続	骨格筋の質的可塑性を制御する細胞外マトリックスの役割
80	特別研究員奨励費	平賀 大一	DC1	継続	低強度運動で高まる海馬可塑性の神経基盤：ドーパミン作動性神経の関与
81	特別研究員奨励費	松井 公宏	DC1	継続	CKD 患者における運動の抑うつ改善効果とその機序の解明：FGF21 に着目して
82	特別研究員奨励費	桑水 隆多	DC1	継続	超低強度運動による実行機能向上の生理機構：ドーパミン作動性神経系の関与
83	特別研究員奨励費	近藤 衣美	PD	新規	ケトン食及び間欠的絶食を応用したアスリートの新規減量方法の確立
84	特別研究員奨励費	山崎 雄大	PD	新規	3つの脳相互作用から有酸素性運動の効果を紐解く
85	特別研究員奨励費	田 暁潔	PD	新規	社会化プロセスとしての子どもの身体発達：学際的なフィールド調査に基づいて
86	特別研究員奨励費	吉岡 将輝	DC2	新規	保存期 CKD 患者におけるカルシプロテイン粒子が筋力に及ぼす影響
87	特別研究員奨励費	森 翔也	DC2	新規	中高齢者における実践的な心疾患予防策の構築：座位行動削減の有効性の検証
88	特別研究員奨励費	田中 喜晃	DC2	新規	運動タイミングと生活習慣病リスク：位相反応曲線から中枢・末梢時計の"ずれ"の推定
89	特別研究員奨励費	秦 俊陽	DC1	新規	ビタミン B1 誘導体による活動意欲促進の神経基盤：行動神経科学的検討
90	特別研究員奨励費	SEOL JAEHOON	外国人特別研究員	新規	高齢者の睡眠障害の改善を介して認知機能に好影響を与える運動強度の解明